

市 議 会 報 告

発行者：後援会会長 水野初彦 / 後援会事務所 稲沢市平野町2-8 電話 32-7199

ののべ尚昭経過報告

- 7月1日 稲沢地区まちづくり懇親会
- 3日 3世代ふれあい大会
- 8日 東海若手市議会議員の会役員会（稲沢市）
- 9日 青少年健全育成大会
- 12日 稲沢まつり企画委員会
- 15日 第6回ののべ尚昭を囲む会
- 18日 清須市長選挙ローカル・マニフェスト型公開討論会
- 20日 病院研究会
- 28日 35歳（政治活動10周年）
東海若手市議会議員の会事務局会議（稲沢市）

- 8月2日 稲沢市荻須美術館新収蔵作品内覧会
- 3日 東海若手市議会議員の会総会（名古屋市）
- 4日 会派視察
（植木剪定枝リサイクル施設：八開チップ）
- 5日 松野町夏祭り
- 6日 サマーフェスタへいわ
- 10日 代表者会議
- 12日 海部北西部地盤沈下対策事業促進協議会
通常総会
- 14日 横地区夏祭り
- 15日 甲子園球場（日本航空高校応援）
- 20日 バトントワリング講習会
（NPO 法人日本バトントワリング協会主催）
- 21日
- 22日 会派視察（新図書館建設現場）
- 23日 稲沢まつり実行委員会全体会議
- 26日 愛知万博ナショナルデー（ギニア）
- 27日 春日井稲沢線地権者説明会（横地区）
- 28日 市総合防災訓練
ソフトボール全国大会出場選手壮行会
- 29日 土地開発公社理事会
- 31日 文教経済委員会正副委員長会議

- 9月2日 文教経済委員協議会
- 5日 衆議院選挙応援（細野議員：静岡5区）
- 7日 議員総会
- 9日 広島修道大学同窓大会（関東支部）
- 10日 稲沢市荻須美術館特別展
- 12日 愛知万博
- 14日 9月定例会（開会）
- 30日 閉会
- 17日 稲西小運動会
- 19日 敬老式
- 25日 稲西小校区運動会

会員の皆様

新年明けまして

おめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。2006年の新年を元気に迎えることができました。会員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は衆議院選挙で自民党が圧勝し、政治がワイドショー的な報道により注目を浴びました。政治が国民に関心を持たれるようになることは喜ばしいことですが、衆愚政治に陥らないように政治家自らがしっかりとすることも必要です。

また、耐震構造偽造事件が日本列島を襲い、政治だけでなく行政や民間企業に対しても国民から大きな信頼を失ってしまいました。日本の構造を根本から見直すことが問われていると思います。

稲沢市は合併して初めての新年を迎えます。まさに合併元年になります。昨年はセントレア開港、愛知万博開催と名古屋が全国に注目を浴びました。その勢いを今年は稲沢に呼び寄せて、地域の活性化につなげていきたいと思ひます。稲沢から日本の政治を変えたいという大きな志を忘れず、大きく飛躍できる年にしていきたいと思ひます。今後も皆様方の変わらぬご支援をよろしく願ひ致します。

市議会議員 野々部尚昭

【ののべ尚昭の所属委員会・役職】 (H17・10月～H18・9月)

- ・厚生委員会（委員）
- ・稲沢市土地開発公社役員（理事）

10月8日 梅檀保育園運動会
 13日 管内視察（厚生委員会）
 15日 戦没者追悼式
 16日 消防団観閲式
 稲沢地区老人クラブ連合会スポーツ大会
 17日 東海若手市議会議員の会事務局会議
 22日 稲沢まつり開場式
 24日 会派視察（東京：地域医療政策セミナー）

21日 塚本久県議会議員を励ます会（名古屋）
 議員親睦会
 22日
 23日 イチョウ黄葉まつり（祖父江地区）
 24日 委員協議会（厚生委員会）
 25日 名古屋市立大学大学院附属経済研究所
 公開シンポジウム
 26日 東海若手市議会議員の会編集委員会
 29日 臨時議会

11月1日 市制記念式典
 2日 正村後援会研修会（長浜市）
 4日 政策評価制度フォーラム（名古屋市）
 5日 広島修道大学同窓大会：役員会（広島）
 8日 厚生委員会行政視察
 （高崎市、見附市、富士宮市）
 10日
 14日 東海若手市議会議員の会研修会（鈴鹿市）
 16日 広島修道大学・非常勤講師
 （法学部国際政治学科）
 19日 ローカル・マニフェスト運営委員会
 第2回ローカル・マニフェスト検証大会（東京）
 20日 後援会ゴルフコンペ（三重県）

12月1日 議員総会・代表者会
 6日 稲沢商工会議所新役員就任披露パーティー
 8日 12月定例会（開会）
 〃
 22日 閉会
 9日 予算要望（⇒市長）
 9日 留学生案内（鳥羽、伊勢、稲沢市内）
 〃
 11日
 20日 平野区陳情
 障害者施設慰問（一宮市）
 27日 年末夜警

議 会 活 動 報 告

9月定例議会 [ののべ尚昭質問]

今回の傍聴者数

21名

市民病院事業について

～ 産科の今後について ～

Q 昨年8月から産科が休診し、市内で赤ちゃんが産めない状況が続いている。全国的に産科の勤務医が少ない傾向にあるが、そうかと言って何もしないと今のままでは多くの市民に迷惑をかける。今後どうしていくのか。

A 平成16年8月以降、休止状態が続いています。大学医局へ医師の確保について要請をお願いしています。しかし、いまだその目処がたっていないのが現状です。

Q 県下で公立の総合病院の中で分娩ができない病院はどれくらいあるのか。また、あるのであればその自治体ではどういった対応をしているのか。

A 当院以外では5病院（一宮市立尾西病院・木曾川病院・今伊勢病院分院、高浜市民病院、尾陽病院）あります。一宮市立の3病院はすでにしています。

Q 研修医制度が変わり、医局の力が弱まっている中、勤務医を確保する事は非常に困難である。前回は提案したが、勤務医ではなく開業医の誘致を図ったらどうか。市長の答弁を求める。

A 誘致の件は病院経営の問題にも関わってきます。医局においてそれぞれの体制が違う部分があります。あるいは医者勤務条件の中で支払います待遇の問題があります。それらをしっかりと整理しながら進めていかなければいけません。よく事務局と調整をする中で進めていきます。

～ 医師の退職と確保について ～

Q 産科、小児科に続き、これから多くの医師が退職すると聞いています。どの分野の医師が何名退職する予定なのか。また、退職の理由は何なのか。更に、それは防ぐことはできなかったのか。

A 12月にかけて肝臓内科2名、消化器内科2名の医師が退職予定となっています。内3名は他病院への転勤、1名は開業のため退職予定となっています。

Q 透析ができなくなるのではないかと。まさに、内科も崩壊状況である。医師の退職の根底には、新しい病院建設の見通しが明らかにされていないということが原因のような気がする。市長は医師の退職の原因は、行政側の態度にも関係すると思わないか。退職に当たり、医師の確保はどうするのか。

A 一部は代務医師での対応をしていきながら、後任医師の補充について各医局へお願いしていきます。小児科については10月から女性医師の確保の目処がたちました。

～ 病診連携について ～

Q 以前から市民病院と医師会との連携を深めてほしいと提案してきました。いわゆる、病診連携である。今後、病診連携を深めるために「病診連携室」を設置する予定で、非常に良い取り組みと評価します。具体的にどういった機能を果たすのか。

A 現在、患者さんの受付を各科において個別に管理しています。この機能を集中し、他の医療機関との窓口の一本化を図るべく「病診連携室」を設置して一括管理できるようにしていきます。

Q この「病診連携室」は業務的な連携であるように思える。この事も必要だが、私が必要と感じているのは、稲沢市の医療全般や新市民病院の建設について、医師会と定期的に話し合いの場を設けるといった連携である。是非、更なる取り組みとして連携強化に努めて頂きたいが見解を求める。

A 現在、医師会とは月例会を通じまして色々な情報交換をしています。病院建設や拠点化、救急医療などについて更なる協議が必要と考えています。

～ 病病連携（厚生連尾西病院）について ～

Q 合併以前は祖父江町には「厚生連尾西病院」（323床）があり、地域医療の担い手として位置づけられていた。そういった意味で行政と関係があったと考えるが、どのようなつながりがあったのか。厚生連尾西病院は民間の名市大系の病院であるが、今まで地域医療を担ってきたのは間違いない。そういった意味で合併後は特に、稲沢市民病院と厚生連尾西病院は連携を深める必要があると考えます。病診連携も必要だが、病病連携は更に必要になってくるのではないかと。現在、両者の連携は皆無だと聞いている。定期的に地域医療の担い手と言う意味で、話し合いの場を作ったらどうだろうか。市長の見解を求める。

A 合併して市内に市民病院と厚生連尾西病院の2つの大きな総合病院が存在することになりました。これまでの旧祖父江町との関係も配慮する中で地域医療の充実という観点から、機能分担と連携について今後協議をしていく必要があると考えています。また、院長さん同士で協議をしていただく部分もございまして、今稲沢市で不足する部分も補っていただき、厚生連尾西病院で不足する部分に対しても協力していこうと協議を進めているところです。

